

岳南會 ニュース

第36号

発行
令和8年1月1日
長野県野沢北高等学校
岳南會
TEL 0267(62)0020
TEL 070(4306)5364
印刷 (株)佐久印刷所



日輪祭「第九」演奏(令和7年6月26日)



岳南會会長
吉岡 徹
(57回)

明けましておめでとうございます。会員の皆様におかれましては、恙なく新春をお迎えになられたことと存じます。

今年度母校は、昨年に続き過去の実績を上回る進学実績を記録しました。柳沢校長先生以下教職員の皆さんのご尽力と、生徒諸君のためまぬ努力に、同窓会として先ずは深甚な



学校長
柳沢 敬

佐久新校(仮称)構想に繋ぐ野沢北の学び

岳南会の皆様におかれましては、健やかな新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。また、日頃より本校の様々な教育活動に、ご理解ご支援をいただいておりますこと、心より御礼申し上げます。

さて、佐久新校(仮称)懇話会も二十八回を重ね、学びのイメージも徐々に形が見えてまいりました。目

る敬意と感謝の意を表したいと思っております。

さて、来る令和十一年に母校の現地に開校予定の、母校と野沢南高に代わる普通科新校(以下「新校」といいます)の創設についてです。

私たちは、教職員を含め千人を超える大規模校となる新校において、生徒の通学の安全性確保は最優先の課題であるとの観点から、現校地を西側へ拡張し、国道141号線へ接続させることによる車歩分離の徹底を強く要望してまいりました。結果、西側の現農業用地(田)二枚を取得することが決定しました。

その一方、新校の性格付けや学び

指す学校像は、『平和で豊かな未来を共創する「知」の探究校』とし、野沢北高校がこれまで築き上げた学びの財産を大切に、発展的に継承した「新しい進学校」を目指す構想が進められております。引き続き岳南会の皆様のご意見もいただきながら、多様な観点から議論を深めたいと考えております。

令和の時代になり、文部科学省も長野県教育委員会も「探究的な学びの推進」に舵を切っております。令和三年には、中央教育審議会「令和の日本型教育」の中で、「探究を軸に、個別最適な学びと協働的な学びの実現」を、令和五年には、長野県の第四次教育振興基本計画で、「個人と社会のウェルビーイングの実現」と『探究県長野』を目指す方針が

のイメージ等について議論が深められ、それらに沿った校舎の配置や立地モデルが示される等準備は着々と進んできております。(詳細は十ページの篠原副会長・再編検討委員会委員長の報告をお読みください)

もう一点、前山の貞祥寺に建立されている戦没同窓先輩を祀る「太平洋戦争戦没者慰霊碑」の護持と慰霊祭についてです。昨年は戦後八十年の節目に当たり、また本校第三回卒業の小池勇助軍医が女子学徒隊を無事帰宅させた後自決した、沖繩糸満市の糸洲の塚が「平和学習の場」として整備されたこともあって、多くの報道陣の取材を受ける中でしっかりとした慰霊式を行うことができました。(詳細は八ページの報告記事をご覧ください)

最後に本同窓会「岳南会」の公益法人化方針についてご報告します。現在「岳南会」は、野沢北高校同窓生の相互親睦を図り、母校発展に協力することを目的とする法人格のない任意団体として活動しております。これまでこの「任意団体」として

の活動において特に不都合や不備があったわけではありませんが、来るべき新校創設を見据え、この会を母校への助成・支援を主目的とする「助成公益法人」として県の認可を得た確固たる組織にしたいと考えております。この法人化によって同窓生の皆さんに新たな負担等が生じることは一切ありません。

むしろこれまで「活動協力金」や「卒業二十周年・五十周年記念寄付金」として寄付された金額は所得税及び市県民税の控除対象となり寄付者に一定の還元がなされることとなります。

この「公益法人化」方針につきましては昨年八月の代議員会におきまして大まかな賛同はいただいておりますが、本年一月の定例代議員会において定款及び日程について正式に議決いただき、総会にご報告する予定です。

末尾になりましたが、本年が皆様にとりましてより健やかで実り多い年となりますよう祈念いたしまして新年のご挨拶といたします。

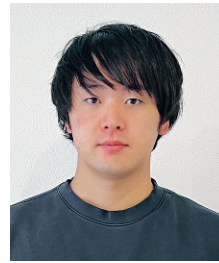
度から始まった独自の海外研修に対する支援が中心です。

多方面からご支援をいただける背景には、本校が長年にわたって培ってきた伝統的な独自の学びの取組とその継承に対する期待に加え、卒業三十年、五十年事業に代表される同窓会の皆様の絶大な支援体制への敬意の表れもあると痛感します。七月に開催した「南極教室」等、今年度も在校生は諸先輩方から大きな学びの財産をいただいております。

今後とも引き続き在校生への温かいご支援と、新校構想への様々なご支援を賜りますよう、お願い申し上げます。ご挨拶とさせていただきます。



母校でつながる南極教室



野沢北高等学校教諭

磯田 涼太(111回)

現在、私は野沢北高校で数学科の教員として働いております。母校で働くことになったとき、「あの教室に今、自分が立っている」という感覚に不思議さと懐かしさが入り混じり、毎日のように過去の自分たちの姿を思い出しております。

そんな中、二〇二五年七月十日、母校にて「南極教室」という特別な授業を実施する機会を得ました。この南極教室は、国立極地研究所が主催する教育プロジェクトで、日本から約一万四千里メートル離れた南極・昭和基地と学校を衛星回線をつなぎ、越冬中の観測隊員とリアルタイムで交流する取り組みでございます。映像と音声でつながることにより、生徒たちは南極の気候、地理、生態系、そして研究活動について、臨場感を持って学ぶことができます。自然科学への興味を喚起し、日常では触れることの少ない極地の世界を実感できる、大変貴重な学びの場です。



高校時代 左から2人目が井上氏
左から4人目が磯田

実は今回、この企画の実現には、個人的なご縁が大きく関わっていました。現在、昭和基地で第六十六次越冬隊員として活動している井上峻(いのうえ・りょう)氏は、野沢北高校出身であり、私の旧友です。彼とは小学校六年生のときにスイミングスクールで出会い、高校卒業まで十年近く、文字通り一緒に泳いでいました。高校時代は私と井上氏ともに野沢北高校に通い、水泳班に所属し、学年は同



結婚式でスピーチをする井上氏

じで、授業も多くを共にし、よく一緒に登下校したものです。高校三年生のときには、井上氏とともに水泳大会のリレーで北信越大会に出場したのも、今ではかけがえのない青春の思い出です。社会人になってからも交流は続き、数年前の私の結婚式では友人代表スピーチもしてくれました。そんな彼から、二〇二四年の八月に「南極教室を母校でやってみないか」という声をかけられました。南極教室は越冬隊員からの推薦がないと応募できませんが、この時点でその条件は満たしていました。教員として母校に戻って間もない私にとつて、友人と協力し母校の生徒にこのような貴重な体験を届けられる機会は滅多にないと感じ、すぐに校内の関係の先生方に相談し、実現に向けて動き始めました。国立極地研究所の方とも何度もやり取りを重ね、実現することができました。

当日は、熱中症対策のため、体育館に生徒全員を集めるのではなく、冷房の効いた各教室(全十五

教室)をオンラインでつなぎ、南極・昭和基地とリアルタイムで交信しました。井上氏は現地の気温や氷点下での暮らし、研究内容の紹介をしてくださったほか、昭和基地のルームツアーも披露してくれました。接続時の南極は朝九時でしたが、極夜のため外は真っ暗でした。画面越しに見る朝九時の暗い外の世界と、独特な基地の生活風景に、生徒たちは食い入るように画面を見つめていました。特に印象的だったのは、生徒からの質問があふれかえったことです。予定していた時間では足りず、やむなく質疑応答を途中で打ち切らねばならないほどでした。終了後に集めた感想文には、「とても貴重な体験ができてよかった」「私もいつか南極へ行ってみたい」「想像より南極基地の生活が豊かそうだと感じた」「オーロラの色が高度や反応する元素によって変わるということや氷の中にある二酸化炭素から遥か昔のことがわかることなどを説明してもらい、化学に興味を湧いた」など、数多くの感想が寄せられました。また、質問も数多く残されており、それをまとめて井上氏に送ったところ、丁寧な回答が届きました。その回答は、全生徒にメールで送り、生徒たちのさらなる深い学びへと繋げることができました。

南極教室は、「南極という非日常の世界を、ただ『見る』だけでなく、つなげる」ことで、より生きた学びへと昇華してくれました。中でも、目を輝かせながら「自分も将来、南極に行ってみよう」と語ってくれた生徒が多かったこと

や、「とてもいい経験ができた」と声をかけてくれた先生や生徒の姿は、教員として本当に嬉しい瞬間でした。

このような貴重な機会を得られたのは、井上氏をはじめとした観測隊の皆様、国立極地研究所の方々、校内で協力してくださった多くの先生方の支えがあったからです。心より感謝申し上げます。母校の生徒たちにとつても、普段なかなか触れられない極地の世界を身近に感じる事ができたのは大きな財産となったかと思えます。また、自分が教員として母校に戻ってきたこのタイミングで、旧友と協力して生徒たちの学びに貢献できたことは、私にとつても一生の思い出となりました。十代の頃を共に過ごした場所で、時を経て新しい価値を生み出す——そんな不思議で温かい経験が得られたことに、深い喜びと充実感を感じています。

これからも、生徒たちが興味や関心を広げていけるよう、ささやかでも力になればと存じます。



南極教室で説明をしている井上氏



Q1 南極にある他の国の基地の
方々と協力して調査を行う、
または交流する機会があります
か？ また、もしそのような機会
があれば、具体的にどのようなこ
とをするのかも教えていただけ
います。

ありますよ。今年の夏も何名か
日本人が外国の基地に行つて観測
を行っています。ペンギンの行動
をペンギンにセンサーを取り付けて
調べる人はフランスのデュモンド
ルビルという基地に行きました。
また、これまで湖沼の堆積物をサ
ンプリングするチームも積極的に
海外の基地を使っています。オー
ロラを観測する測器を多点に広げ
るために海外の基地と共同研究し
ているグループもあります。昭和
基地周辺だけでなく、南極の広域
で観測をしたい研究では海外の観
測隊と共同で研究を進めますね。
また、今年の夏は氷床コアの掘削
を学ぶために韓国人が一人ドーム
ふじまで一緒に行きました。

Q2 南極でのネット環境はどのく
らいのものなのでしょうか？

二〇〇四年からインテルサット
という衛星による通信設備が昭和
基地で整つて以来、少しずつ通信
環境が改善されています。この衛
星通信では1~2Mbps程度でイン
ターネットを使用することができ
ます。昨年からスターリンクの
試用が進んでいて100Mbpsを
超える速度で通信できています。
技術の革新ですね。音声電話は近

くに企業が管理する基地局が無い
のでできませんが、「LINE」などの
インターネット電話ならほとんど
不自由なく使えるようになりまし
た。

Q3 南極に行つてみたいと思いま
しいたが、文系である自分は
どうやって行けばいいでしょう
か？

越冬隊の中には、「庶務」隊員
が文系出身ですね。夏隊だと、「庶
務」「教員」「報道」「広報」「人文
系の研究者」が文系に近いと思
います。

極地研には大学学部四年間は文
系で、大学院から理系に転向して
氷床コア研究している人もいま
す。優秀です。
観測隊でなく、観光や冒険家と
いう生き方もあります。

Q4 染髪とありましたが、髪を染
めている人はどのくらいいる
のですか？

若い人を中心に今七名いますね。
皆さん日本では黒髪です。あとは
白髪染めです。

Q5 極夜の時期に生活して体に支
障が出ないか気になります。
日光浴びてなくて体調大丈夫で
すか？

冬うつという言葉があるそうで
すが、何ヶ月も太陽を見られない
と気分が沈んでくることがありま
す。精神的な落ち込みから身体的
な疲労など様々な症状が出ること

があります。極夜の落ち込んだ気
分を解消するために南極の全ての
基地では冬至にミッドウィンター
フェスティバルというお祭りが
あつて、フルコースのディナーや
スポーツイベントを行う文化があ
ります。越冬隊全員で協力して暗
い極夜の雰囲気も乗り越えていま
す。

↓極地研ホームページのブログ
「昭和基地でのミッドウィン
ターフェスティバル」

Q6 昭和基地の廊下が無駄に長い
ように感じたのですが何か理
由があるのでしょうか？ また、
南極は南極条約でこの国の領土
でもないため、罪を犯した場合
はこの国の法律で裁かれるのかを
知りたいです。

そういわれると確かに長いです
ね。正確な回答はできないです
が、除雪の関係かもしれません。
屋外でなるべく重機が除雪できる
設計、それからドリフトがなるべ
くたまらない設計にはなつてい
ると思います。建物の多くは高床式
です。

どこの国の領土でもありません
が、各観測隊、各国の法律が適用
されていると思います。日本の観
測隊は日本の法のもと活動してい
ます。

Q7 数万年前の氷には二酸化炭素
以外に何が含まれているのか
でしょうか？ またの機会があり
ましたら、ぜひ沢山のお話を聴
くことができたら嬉しいです。

温室効果ガスの濃度、同位体比

のほか、酸素、窒
素、アルゴンなど
の気体の同位体比
成分比も調べます。
図に氷床コアから
分析される項目と
それから復元でき
る古環境情報が
載っています。

「アイスコア」
地球環境のタイム
カプセル」という
書籍が読みやすい
です。

以下のサイト
「ICRCアイスコ
アの研究」も写真
多めで紹介してい
ます。

https://polaris.nipr.ac.jp/icrc/hdocs/?page_id=70

Q8 アイスプラネットは綺麗です
か？

氷の惑星。南極氷床のことを指
していますよね。きれいです。澄
んだ空気の中、360度地平線の
果てまで真っ白な雪原、空は雲の
ない真っ青な clear sky、二色し
かない世界を初めて見たときには
とても感動しました。

Q9 CO₂の濃度が周期的に増え
ては減つていたのですが、そ
れはなぜでしょうか？ また、オ
ゾンホールが最近回復傾向に
なつていると聞いたことがあるの
ですが、本当でしょうか？

間氷期に気温が高くなると、海
洋に融け込める二酸化炭素の量が

分析項目	気候・環境要素																
	気温	海水温度	温室効果	風速	砂塵	海洋生物活動	海洋溶液	極生	森林火災	火山活動	雷	太陽活動	地球磁場	成層圏物質	超新星爆発	北極圏氷冠	核実験
δ ¹⁸ O, δD																	
d-excess																	
CO ₂ , CH ₄ , N ₂ O																	
固体微粒子																	
pH(H ⁺)																	
Na ⁺																	
K ⁺																	
NH ₄ ⁺																	
Ca ²⁺																	
Mg ²⁺																	
Al																	
F																	
Cl																	
NO ₃ ⁻																	
MSA																	
SO ₄ ²⁻																	
H ₂ O ₂																	
オゾン(フランクカーボン)																	
有機酸																	
花粉																	
宇宙線生成核種																	
トリチウム																	
総酸量																	

出典：藤井理行

Q7 床コアから分析される項目とそれから復元できる古環境情報

減つて大気に放出されます。大気
の二酸化炭素は温室効果によつて
地球を温めます。海洋がさらに温
まり二酸化炭素を大気に放出し、
温室効果が地球を温めます。
一方、氷期に気温が低いと、二
酸化炭素を海洋が吸収し、温室効
果が弱まり、地球が冷えます。す
るとさらに二酸化炭素を海洋が吸
収する。
上記二点のように気温と二酸化
炭素は互いに影響し合いながら変
動しています。問題はどちらが変
動のきっかけになるかですが、氷
期間氷期サイクルでは基本的に気
温と考えられています。太陽の周
りを回る地球の軌道が数万年周期
で変化するのですが、それに伴つ
て日射量も変動します。日射量が
変化することが気温の変化を含む

水期間氷期サイクルを引き起こしています。現在は人為起源の温室効果ガス放出がきっかけとなって温暖化が起きているので、自然の変動とは異なる変動が予測されます。将来どうなるのか、気候モデルの研究者が鋭意研究中です。

オゾンホールについて、私も専門ではないのですが、一九八〇年代から南極上空で観測されているオゾンホールは、オゾン層を破壊するフロンガスの放出が削減されて以降、二〇〇〇年以降、縮小が続いているようです。人が環境問題の解決に成功している例と思います。

Q10 南極調査のメンバーになるには、資格とか何か必要ですか？

全員に共通して必要な資格はありません。各人がその道のエキスパートである必要はありません。研究者なら博士号、建築隊員なら建築士免許、野外支援隊員なら登山ガイド資格といった具合です。全員に共通して必要なのは心身ともに健康であることです。

Q11 なぜ電気を帯びた粒子が太陽からくるとわかるのでしょうか？ また、なぜ氷が何年前のものかわかるのでしょうか？

電気を帯びた粒子を含む、太陽の表面にあるガスからは光が出ています。

そのため、太陽から来ているその光を観測することでそのガスが太陽からどの方向にむかって放射されたかを知ることができます。

・参考

LASCOという衛星の観測装置で実際に観測された例の動画のリンクを送ります。

太陽から放射されたガスが中央から出ているのがわかるかと思えます。

https://lasco-www.nrl.navy.mil/content/movies/jan15_small.mpg

中央にある、白線で書かれた丸が太陽の位置です。太陽の中心からの光は強すぎて、太陽表面のガスから出る比較的弱い光が見えなくなってしまうので、強い光が観測装置に入らないように隠してあります。

〈井上より〉

氷の年代を決定するのも一苦勞でして、正確に決定するだけではないので、正確な研究課題になっていきます。年層を数えたり、雪が積もって氷になって流動して薄くなっている様子を数値計算するモデルで計算してみたり、地球の軌道要素との関係から求めたり、年代の分かる火山灰層を見つけて年代を決めたり……いろいろな方法がありまして、実際にはこれらの方法をいくつも組み合わせる年代を決定します。

Q12 一年分のドリンク、どんな種類がありますか？



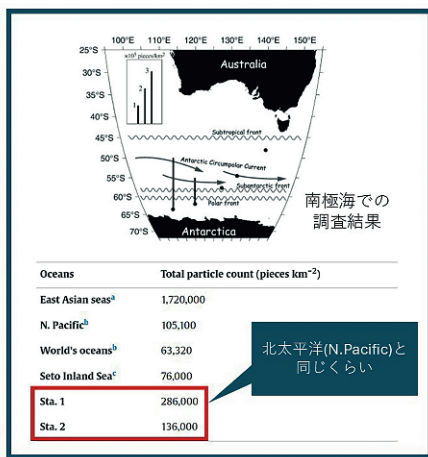
Q12 9月のドリンク

9月のドリンクです。もちろんペットボトル以外のドリンクもあります。

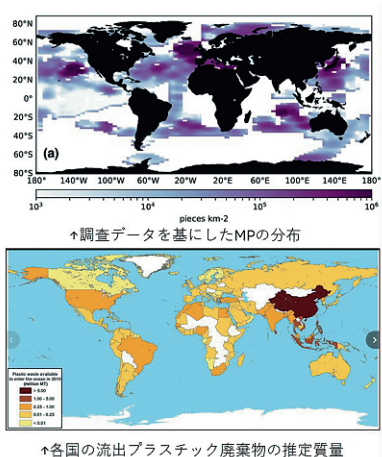
Q13 南半球は途上国が多いので、流れてくるマイクロプラスチックは少ないのではないかと思っています。実際のところどうなのですか？

MPを観測する隊員からの回答と同じ南半球でも、場所によってマイクロプラスチックの存在量は異なります(資料1・図4)。

海洋ごみの流出量が多い国はアジアに集中しているので(資料2・図1)、北太平洋にマイクロプラスチックが多いと思われがち



Q13 各論文から抜粋した図



ですが、実は南極海にも北太平洋と同じくらいの量のマイクロプラスチックが見つかっています(資料3・表3)。海の流れによって、南極大陸の近くにマイクロプラスチックが閉じ込められているからでは? と言われていますが、まだ詳しく分かっています。現在調査中なので、近いうちには何か新しいことが分かるかもしれません。以下が上記の参考論文です。興味があれば……。

各論文から抜粋した図も付けておきます。

【資料1】 全球的なマイクロプラスチック量分布: <https://link.springer.com/article/10.1186/s43591-021-00013-z>

【資料2】 海洋へのごみの流出量が多い国: <https://doi.org/10.1126/science.1260352>

【資料3】 南極海のマイクロプラスチック: <https://doi.org/10.1016/j.marpolbul.2016.09.037>

Q14 なぜ同じ酸素で赤と緑のオーロラが見えるのでしょうか？

地球大気に降り込んでくる粒子のエネルギーの大きさに違いによって、酸素原子に与えるエネルギーの大きさが変わってくるため、それに応じて光として放出するエネルギーの大きさも変わってきます。

ルギーが変わると、放出される光の波長も変わってきます。(これは高校物理でやる内容なので、気になる人は高校の物理の先生に聞いてみてください)。そのため、色が違って見えるというわけですが、地球大気に降り込んでくる粒子のエネルギーの大きさによって、どの高度まで地球に近づいてこれるかというのも決まっています。

それも高度によって色が違う理由の一つです。

(興味ありそうな学生さんがいれば、ですが所属の大学の研究所のホームページに中高生向けの解説ページがあって、研究室配属直後はよく参考にしていたので紹介までにリンク送ります。)

<https://www.isee.nagoya-u.ac.jp/50naze/aurora/> (オーロラ50のなぜ)

https://www.isee.nagoya-u.ac.jp/pub/nanda/ste_aurora_j.pdf (オーロラ漫画版)

https://www.isee.nagoya-u.ac.jp/50naze/solar_wind/ (太陽風50のなぜ)

https://www.isee.nagoya-u.ac.jp/pub/nanda/ste_solarwind_j.pdf (太陽風漫画版)

以上です。中継後の感想から皆さんが興味を持って聞いていた様子うかがえて、うれしい限りです。ありがとうございます!

第66次南極地域観測隊・越冬隊 井上峻

70回卒業生 50周年

令和六年十一月三十日(土)、浅間山がうつつら雪をいただいた小春日和の中、佐久グランドホテルにおいて、「卒後50周年(昭和49年卒)記念式典・祝賀同窓会」を開催いたしました。70回生のこの記念事業コンセプトは「まだまだ青春」「母校への恩返し」「次世代への応援」でした。

来賓に同窓会副会長木内美穂様、野沢北高校柳沢敬校長先生、恩師である藤沢平治先生をお迎えし、記念事業の一つでもある母校への協賛金も贈呈することができました。

来賓の木内副会長様からは「今も面々と受け継がれている北高スピリット」を、柳沢校長先生からは「五年後開校予定の佐久新校(仮称)の様子と新校に受け継がれていく現在の北高の取組みについて熱く語っていただきました。また、現役時代と代わらぬ様子で終始会場を沸かせておられた藤沢先生のお姿や宿岩多計志先生、馬場梅二郎先生のメッセージからは年を重ねても「生きる」ことへの心意気を教えていただきました。この日全国各地から集った総勢九十名近い参加者も、すでに鬼籍に入られた友や恩師とともに過ごした高校時代の思い出を語り合い懐かしみ、これからの人生に潤いやエネルギーをいただいたあつという間の四時間でした。

時代の急激な変化の中、高校再編により新校となり母校がなくなってしまうような一抹の寂しさがありました。柳沢校長先生のお話をうかがい、私たちの根っこを大きく育ててくれた母校が発展した形で次世代に受け継がれることを確信

し、新校になっても今までとかわらない期待と岳南会の益々の発展を願う一日となりました。

(実行委員会代表 依田 緑)



4組～6組



1組～3組

91回卒業生 30周年

私たち91回卒業生は岳南会の伝統に則って、令和七年八月十日、卒業30周年を記念して佐久グランドホテルにて記念式典・大同窓会を開催いたしました。当日は吉岡岳南会会長、柳沢校長先生を来賓に迎え恩師の先生と、約一五〇名の同級生が集まり、三十年という歳月を一気に埋めるかのような笑顔と歓声に包まれました。

当日出席の先生方からは温かいお言葉をいただき、出席できなかった先生からもお手紙を頂戴し、在学当時の思い出がよみがえるひとときとなりました。

懇親会では、スライドショーに映し出される学生時代の写真に大きな笑いが起こり、会場は当時の教室のような賑やかさにあふれました。中には卒業以来初めて再会する仲間も多く、互いの近況を語り合いながら変わらぬ友情と新たな絆を確かめ合うことができました。

また、記念事業の一環として母校への寄付を行い、私たちが育んでくれた母校への感謝を形に残すことができました。これもひとえに、多くの皆様のご理解とご協力のおかげと、心より感謝申し上げます。

今回の集いは、単なる同窓会にとどまらず、それぞれが歩んできた三十年を振り返り、これからの人生に向けての励ましを分かち合う場となりました。参加できなかった皆さんとも、また50周年の節目に再び笑顔で集えることを楽しみにしております。

(91回卒業生 卒業30周年記念事業実行委員長 大森豊也)



長野県野沢北高等学校岳南会91回生 卒後30周年記念式典・大同窓会
2025年8月10日(令和7年) 於:佐久グランドホテル

支部から

紙面の関係で、簡単な紹介です。詳しくは岳南会ホームページをご覧ください。

長野支部

令和七年一月二十二日(水)トロポリタン長野にて、長野支部総会が六年ぶりに開催されました。61回生の大先輩から113回生の大学卒業後間もない若き社会人まで二十六名と、岳南会から吉岡会長ら四名の総勢三十名が、新年の夕べの一日、懐かしくもあつい語らいの刻を過ごしました。



▲堀籠義雄
支部長



▲校歌響く会場

会場風景▶



▲指揮をする
柳澤宏季さん

白田支部

令和七年四月十二日(土)白田会館にて、白田支部総会が開催されました。新年度最初の支部総会は白田が恒例となっています。井出泰生支部長(62回)は開会挨拶で、支部会員が三百十三人の多数に上り、最高齢は41回卒(九十九歳)の大先輩であることを報告、支部総会で交流を活発にして母校の発展に貢献したいと述べられました。



井出泰生
支部長の挨拶



▲会議風景



▶多田美江さんの乾杯



歓談▶

佐久町支部

令和七年五月十六日(金)いろはにて、佐久町支部総会が五年ぶりに開催されました。参加者は十五名、中でも100回以降の二十代の皆さんが四人と、新鮮な力を感じることができました。



▲会議風景



▲若き支部会員の面々



歓談風景▶

岳南会 令和8年総会のご案内

- 日時** 令和8(2026)年1月5日(月)
- 場所** 佐久グランドホテル2F
佐久市中込 ☎0267-62-0031
- 日程** 総会 ●13:00～
議事:会務・会計報告、高校再編 等
- 記念講演 ●14:30～
演題 「熟練者のスキルと上達のためのコツ」
講師 慶應義塾大学 環境情報学部 教授 博士(学術)
慶應義塾大学 体育会野球部 部長
SFC研究所 ベースボール・ラボ 代表
加藤貴昭先生(89回卒)
- 吹奏楽班 新春演奏会 ●16:00～
懇親会 ●16:30～ 会費 6,000円
- 連絡先** 岳南会事務局(野沢北高校内)
☎070-4306-5364

御礼

昨年いただきました「ご寄付について」

まず本同窓会への活動協力金についてご報告と御礼を申し上げます。この「岳南会ニュース」に同封して毎年お願いしております協力金ですが、昨年は計一、〇八七件、一、三百三十二万五千五百三十三円を頂戴いたしました。ご協力に心から感謝申し上げます。本年も何とぞよろしくお願ひ致します。

次に本会恒例の卒業30・50周年記念同級会からの寄付金です。

昨年は卒業30周年、91回卒の皆さんから母校及び在校生諸君支援にと二百五十万円をご寄付いただきました。誠にありがとうございました。

また卒業50周年を迎えた71回生(昭和五十年卒)の皆さんの記念同級会については、令和八年二月十四日(土)に開催が決まりました。遠からず開催通知が届くことと思います。

この「周年寄付」は我が岳南会の確固とした伝統として新校へも引き継いでいきたいと考えております。

(会長 吉岡徹)



国際宇宙ステーション (ISS)へ出発

JAXA 油井亀美也宇宙飛行士が、七月三十一日(日本時間八月一日)、新たなミッションに挑むため、二度目の宇宙に出發しました。全校でその挑戦を応援し、様々なメッセージを届けながら、帰還後の交流を楽しみにしています。



祝賀の横断



1学年の応援動画より

全国大会参加報告

井出芽久美(100回生)

このたび、全国高等学校総合文化祭将棋部門に男子団体戦は二十一年ぶり、女子個人戦は十年ぶりに出場する機会をいただきました。県大会では、生徒一人ひとりが普段以上の実力を発揮することができ、代表獲得となりました。班員全員が全国大会出場を目標とし、いい雰囲気練習に臨んだ結果だと感じます。

全国大会では、大舞台に緊張しつつも、連日の猛暑にも負けず、全国から集まった多くの強豪選手たちと真剣勝負を重ね、生徒たちは将棋の奥深さと楽しさを改めて実感しました。結果はどちらも予選落ちとなってしまいました。全員が二年生ということもあり、来年に向けて貴重な経験と大きな刺激を得ることができました。現在、来年度の全国大会出場に向けて班員全員日々精進しております。今後とも暖かく応援していただければと思います。



最後にありますが、大会参加に際し岳南会より補助金をいただきましたこと、心より御礼申し上げます。

令和7年度 岳南会 一般会計決算書

会計期間 令和6年11月16日～令和7年11月15日

収入総額 17,870,770円 支出総額 10,160,573円 差引残額 7,710,197円

【収入の部】

単位:円

項目	収入済額	備考
入会金	1,200,000	6,000円×200人(令和7年4月入学生)
卒業生終身会費	1,940,000	10,000円×194人(令和7年3月卒業生)
総会会費	270,000	
事務費	450,000	岳南塾より事務職員人件費補助
岳南会館維持管理費	500,000	2,500円×200人(令和7年4月入学生)
進路指導支援費	500,000	2,500円×200人(令和7年4月入学生)
岳南会活動協力金	2,321,533	郵便局(666,809)・コンビニ(1,618,804)・現金(35,920)
繰越金	10,675,567	
雑収入	13,670	名簿代(4,200)・利息(9,470)
合計	17,870,770	

【支出の部】

単位:円

項目	支出済額	備考
会報発行費	2,689,411	会報印刷費、封筒印刷費、振込用紙印刷費、郵送料等
総会費	696,500	会場費、講師謝礼、総会案内用往復葉書等
役員会議費	228,523	三役会、代議員会、会計監査等
支部会議費	558,824	祝儀、旅費等
高校再編検討会議費	125,500	旅費、活動費等
慶弔費	670,963	饂飩、香典、祝儀、卒業証書用ホルダー、新入生校章バッジ等
学力充実支援費	1,600,000	進学補習費(OB講師)・全国学校視察費等
クラブ等後援費	557,547	1,000円×200名、全国大会祝儀・祝垂幕費、広告代等
進路指導支援費	600,880	進路指導支援(振込手数料880円)
岳南会館維持管理費	720,770	会館電気料、暖房費、補修費等
事務費	852,468	事務職員人件費、事務用品、葉書、封筒、切手等
ホームページ管理費	188,647	毎月ホームページ更新・管理
予備費	670,540	岳南会館エアコン設置費(453,200)、沖縄慰霊祭参加費(217,340)
合計	10,160,573	

以上相違ありません。

令和7年11月26日

会計監査 荻原 泰昭

木内 清

宮澤 彰博

第二十五回 岳南会戦没者等慰霊祭



寺ご住職岡本
春光師の深い
誦経の音が流
れ、参列者一同
二百三十七人の先輩方のご冥福
を祈り、非戦への誓いを新たに
しました。

四半世紀の時を経て、今年も岳南会戦没者等慰霊祭が去る六月一日(日)、初夏の光が櫻の葉裏に揺れる貞祥寺慰霊碑前でしめやかに行われました。毎年六月第一週の日曜日十時三十分が例会の慣例として定着しています。

昨年からは岳南会支部役員の方にもご賛同の輪を広げ、今年も四十人を超える多くの参列者が集いました。また、この日を「平和を考える日」に定めている野沢北高校から、生徒会と「世界を考える会」合わせて五人の生徒の皆さんが参加、八十一年の時を隔てて、なお野沢北高校の良心が豊かな流れをつくり、未来に継承されていく姿を強く印象づけました。

野沢北高校を望む高台に貞祥



主権者を代表して吉岡徹同窓会長、学校を代表して校長の柳沢敬先生、また生徒を代表して生徒会長の三年永井柊^{みづな}さん、「世界を考える会」の三年北澤^{きたがはら}壬悠^{みづゆう}さんが追悼の言葉を捧げました。

さらに参列者を代表して柳田清二^{きよじ}佐久市長は、野戦病院「糸洲の壕」(糸満市)の整備と昨春早々に行われた竣工式にふれ、複雑な思いを持つ沖繩の皆さんの深い理解の上に実現したこと

を感謝の気持ちを含めた言葉で述べ、平和学習に対する責任と若い世代への期待を語りました。小池勇助軍医(三回)が、東京音楽学校教授であった吉丸一昌が安曇野の春を清冽に表現した「早春賦」の歌唱を、郷里佐久の記憶に重ねて「ふじ学徒隊」の女学生に願ったエピソードも紹介、瞬時、その揺れる心に思いをはせたことでした。

また、中島則保南相木村長は、一九八五(昭和六十)年、村の入口に「不戦の像」が建立された経緯を紹介、自身の家族にもあった戦争の深い傷にふれながら、歴史の見方を点から線に、さらに線から面に更新し、ゆるぎない平和を維持していくための考察を続けていく大切さを述べました。

岳南会戦没者等慰霊祭は、新しい四半世紀に向け、佐久新校に引き継がれながら平和の礎として確かな歩みを続けていきます。

岳南会副会長

篠原 秀郷 (65回)

慰霊祭 吊辞

「サークル」世界を考える会」代表生徒の言葉

三年五組 北澤 壬悠

田んぼに青々とした苗が広がり、初夏の風が頬を撫でる季節となりました。本日、この戦没者等慰霊祭に野沢北高校の生徒として参加させていただけることを、心から感謝申し上げます。

今から丁度八十年前に終わりを迎えた第二次世界大戦で、その尊い命を散らした二百三十七名の先輩方。

私たちが八十年前の先輩方の生活や思いを上手く想像できないのと同じように、きつと先輩方も八十年後がこんな未来になっているなど予想もできなかったことでしょう。しかし、皆さんが作り上げた野沢北高校の伝統は今も私たちに引き継がれています。

あなた方が青春の時を過ごした学び舎で、今私たちが日々文武両道に励んでいます。その中で、戦争がいかに悲惨であるか、命がどれほど尊く大切であるかを学んできました。そんな私たちは、国のため家族のためと戦火に飛び込まざるを得なかった皆さんの気持ちを身近に感じることはできません。ですが、今私たちが享受している平和な世界は、皆さんの未来と平和を願う思いのおかげなのだ、とそう感じていきます。無慈悲に幸せも命をも奪い取ってゆく戦争を肯定するつもりは一切ありません。ですが、あまりに大きすぎる犠牲の代償として得た、この豊かで幸せな日々を後世に残していくことこそが私たちの使命です。

しかしながら、残念なことにも世界の戦火は無くなっていません。ウクライナやガザ地区での戦争に加え、インドとスリランカ、台湾と中国、アメリカと中国など、世界中の様々な地域で喧嘩合いが激化してきまし、不安な日々を過ごしている方がいます。日本においても、止まらない物価高に米不足、政治家の汚職などが重なり、不安が町を覆い隠そうとしています。しかし若い人の政治離れは進みつつあり、友との対話でもそのことを実感する時があります。

私たちはまだ子どもです。学生です。力も知識もほんの少ししか持っていません。それでも、私たちは世界を考える会で、ピーストークや国際交流などに参加することで、戦争や世界について深く学び考えています。

世界の恒久平和と日々の幸せのため、今後も貪欲に学び、挑み続けることを誓います。我らが野沢北高校の先輩方、どうか私たちを見守ってください。皆様のご冥福を心からお祈りして、慰霊の言葉とさせていただきます。

令和7年 会務報告(総会1月5日以降、事務局把握分)

- 1月 5日(日) 第1回役員会・第1回代議員会
令和7年 岳南会総会 会場：佐久グランドホテル 参加者約80名
記念講演 臼田裕一郎氏(88回卒) 筑波大学教授
- 1月22日(水) 長野支部総会開催 出席者30名 正副会長、学校長、事務局出席
- 1月24日(金) 岩村田支部総会開催 出席者12名 篠原・田原副会長出席
- 1月27日(月) 第33回再編検討委員会(同窓会館)
- 2月 8日(土) 東支部総会開催 出席者16名 正副会長、学校長、事務局出席
- 3月 4日(火) 野沢北高校卒業式 会長出席
- 3月 8日(土) 南牧支部総会開催 出席者12名 会長、篠原副会長出席
- 3月18日(火) 臨時役員会(三河屋)
- 4月 4日(金) 野沢北高校入学式 会長出席
- 4月 7日(月) 第34回再編検討委員会(同窓会館)
- 4月12日(土) 臼田支部総会開催 出席者26名 正副会長、学校長、事務局出席
- 4月26日(土) 小海支部総会開催 出席者12名 会長、篠原副会長、学校長出席
- 5月 7日(水) 第5回佐久新校創設推進協議会(佐久市役所)
- 5月16日(金) 佐久町支部総会開催 出席者15名 会長、篠原副会長、学校長出席
- 5月17日(土) 関西支部総会開催 出席者8名 会長、篠原副会長、学校長出席
(野沢南高校同窓会鈴蘭会との共同開催 鈴蘭会出席者7名)
- 6月 1日(日) 戦没者等慰霊祭 貞祥寺 参加者約40名(生徒5名を含む)
- 6月 7日(土) 東京支部総会開催 出席者41名 会長、篠原副会長、学校長、事務局出席
- 6月20日(金) 小諸支部主催ゴルフ大会開催
- 6月21日(土) 小諸支部総会開催 出席者24名 会長、学校長、事務局出席
- 7月12日(土) 八千穂支部総会開催 出席者11名 会長、篠原副会長、学校長、事務局出席
- 8月 8日(金) 第3回役員会(同窓会館)
- 8月10日(日) 第91回生 卒業30周年同窓会 会長、学校長出席
- 8月14日(木)～17日(日) 第29回岳澄展 野沢会館
- 8月23日(土) 第2回代議員会(佐久グランドホテル) 出席者40名
- 11月29日(土) 松本支部総会開催 出席者(13)名 会長、篠原副会長、学校長、事務局出席

会務計画(今後の予定)

1. 令和8年 岳南会総会(代議員会あり)
1月5日(月)岳南会総会 10時～代議員会 13時～総会 14時30分～記念講演会
会場：佐久グランドホテル
記念講演 加藤貴昭氏(89回卒)慶應義塾大学教授
2. 役員会(年4回：1月、7月、8月、12月)
3. 代議員会(年2回：1月、8月)
4. 各支部総会(各支部ごとに計画)
5. 再編検討委員会(適宜)
6. 戦没者等慰霊祭(6月第1日曜) 令和8年(2026年)6月7日
7. 「卒業周年記念同窓会」：30周年(92回卒)、50周年(71回卒 令和8年2月14日)
8. 岳南会ニュース発行、協力金依頼(12月下旬)



岳南会再編検討委員会 活動経過報告

二〇二五年七月三十日、長野県教育委員会は第二十七回佐久新校再編実施計画懇話会の添付資料として『佐久新校（仮称）基本計画【概要版】』を公表しました。

ここでは、昨年の本欄で報告した、グラウンド西側への校地拡幅決定以後の校舎建設を含めた環境整備の内容を中心に、基本計画の骨子を明らかにしていきます。また同時に、開校までに解決すべき課題を整理しますので、活発な意見交換を期待します。

「基本計画【概要版】」要旨

今回事された概要版は、既に二〇二三年（令和五年）一月の県教育委員会定例会で決定し、議会承認を経た次の三点を再確認した上で、これまで懇話会等で明らかになってきた内容を網羅的に記述しています。

1 既定事項
○二〇二九年（令和十一年）四月に開校する。（現小六生の入学時）
○現在の野沢北高校の校地を活用する。

○全日制八学級程度、定時制一学級を募集する。

2 施設整備
(1) 主な配置計画

- ① 除却と活用（改修含む）
（除却）格技室、プール、合宿所
（活用）特別教室棟、音楽室棟、大体育館
他は全て新築。

② 拡幅校地（五、八〇五㎡）の使途予定

駐車場（約百二〇台）、ロータリー、ハンド
ボールコート

③ 駐輪場の整備

約八百六〇台分

(2) スケジュール（主なもの）

① 基本設計 二〇二五年（令和七）

② 実施設計、建築確認申請、適合判定 二〇二六年（令和八）

③ 管理棟・教室棟新築（Ⅰ期） 二〇二六年（令和八）

④ 小体育館新築（Ⅱ期） 二〇二九年（令和十二）

二〇三一年（令和十三）

(3) 敷地面積 全 五四、五〇〇㎡

現野沢北敷地 三三、六三九㎡

テニスコート 三、五四七㎡

第2グラウンド 一、五〇九㎡

拡幅校地 五、八〇五㎡

(4) ZEB化の検討

新築部分の一次エネルギーを五〇%削減するため、ZEB化（Net Zero Energy Buildings）を採用する。

3 佐久新校の学び

(1) 方針

『夢のある平和で豊かな未来を共創する「知」の探究校』

(2) 方針の具体化「新しい進学校」の創設

① 進学重視型単位制

② STEAM教育の充実とリベラルアーツの展開

③ 「新しい普通科」と「理数科」を発展させた学科の設置

課題の解決に向けて

もとより、佐久新校創設推進協議会をはじめとする地域の願いの核心には、先ず「生徒の通学の安全性確保」があつて、この責任感が再編統合高校で県下初の校地拡幅を実現する力となりました。拡幅校地の機能的な運用と充実した環境整備を進めるため、今後次の五つの項目に重点的に取り組む必要があります。

1 拡幅校地（駐車場）の進入路と退出路の円滑な利用

- を因るため、国道141号線に信号機を設置する。
- 県道相浜本町線（北高南道路）の混雑を解消するため、野沢西交差点出口に右レーンを設置する。
- 八百人を超える自転車通学生の安全を図るため、危険箇所を点検し、除去していく。
- 北高周辺の市道の整備については、佐久市の支援をいただきながら県当局に実現を要請していく。
- 解体・新築工事中の授業および物品の保管に支障をきたさないよう、施設の確保について万全の体制をとるよう県当局に要請していく。

その他

県教育委員会は佐久新校の「校名」について、先ず一般公募を行い懇話会で二回の選考を経て、二〇二六年（令和八）年度中に校名（案）を決定する旨、提案しています。「校名」は、「校歌」および「校章」とともに新校の理念を体現します。その意味で、三者を一体的に創っていくことが重要ではないか考えます。

さらに佐久新校の同窓会のあり方です。岳南会では新たに組織を助成公益法人化して貴重な寄付金を柔軟に活用し、学校の教育支援を充実させることを考えています。野沢南校同窓会と協議しながら、新法人を佐久新校につなげていきたいと考えています。

また、佐久新校のシンボル（象徴）となる何かをどこかに、という声もあります。

新校開設まであと三年余となりました。

岳南会再編検討委員会は、同窓会の意思を十全に体现し、全力で学校を支援していきます。

岳南会再編検討委員会委員長
篠原 秀郷（65回）



佐久新校（仮称）基本計画（案）【概要版】 R7.6 時点

進路指導室から

岳南会の皆様におかれましては、平素より本校の進路指導に対し多大なご協力を賜り、厚く御礼を申し上げます。本校の進路の様子についてご報告申し上げます。

▼卒業生の概況

今春は新課程初年度入試でした。共通テストに新教科「情報」導入で、国公立大の多くで必要科目数が八科目に増加しましたが、志願者数の減少といった影響はありませんでした。出題形式・傾向に変化があった科目もありましたが、平均点は三年連続でアップしました。総合型・学校推薦型選抜で志願者が大きく増加したことも今年の特徴でした。出題範囲

に大きな影響はなかったとはいえず、課程改定に不安をおぼえた受験生が、早期に進学先が決まる総合型・学校推薦型を選んだケースが多かったようです。

令和六年度末における大学合格者数は掲載表のようになっています。一昨年あたりから推薦入試を活用する生徒が増え、進学希望者の半数近くが利用しています。国公立大では、前期から第一志望に果敢にチャレンジし、中・後期まで粘る生徒が多数見られました。北海道大、名古屋大、大阪大、信州大医学科など国公立合格者数八十二名(うち進学者は七十二名)は近年で最も多い結果となりました。私立大は早稲田大・慶應大など九十三名が進学しています。探

究的な学びを活かして国際基督教大への進学もみられました。卒業生数に対する私立大進学者の割合は四七・九%を占め、ここ数年増加しています。

▼今年度の大学入試トピックス

- (1) 共通テスト・個人出願へ
入試制度面の大きな変更点として、二〇二六年度の大入共通テストからWeb出願(個人出願)が導入されました。出願内容の登録から訂正、受験票の取得・印刷など、すべてWeb上で行い、これまで高校を通して出願していた現役生も個人で出願することになりました。
- (2) 学校推薦・総合型選抜(年内入試)の動き
文部科学省の調査によると、二十

四年度の大学入学者のうち学校推薦型選抜の合格者は三五%、総合型選抜は一六%で計五一%を占め、過半数が「年内入試」で進学を決めています。私立大では、入学者の五九%が年内入試合格者です。入試の主流が年内入試になったかのような報道もありますが、難関私立大では年内入試の募集人員は多いとは言えません。国公立大でも総合型や推薦型は増えてはいますが、まだ八割ほどが一般選抜です。私立大も含め難関大ではまだまだ一般選抜が主流です(国公立大でも東北大学や筑波大学は三割が年内入試です。東北大は二〇五〇年までに一般入試での入学者をゼロとし、総合型選抜の割合を一〇〇%にする方針を掲げています)。

▼在校生の現況

現三年生は、九五% (昨年度九六%) にあたる百八十三名が大学入学共通テストに出願しました。九月からは放課後に理社の補習を行なっています。また、難関大学受験者支援では「アカデミックサポーター」として同窓生のお力を借り、放課後時間を利用して英語・数学の補習も行っておりです。生徒たちは第一志望突破のために日々の授業に励み、また放課後の補習や居残り学習に励んでいます。

一年次の大学インターンシップでは今年度新たに高大連携研修として東京科学大学に二十名参加し知見を広げました。キャリア講演会では各界の社会人(医師、弁護士など)、推援会(文理選択など一・二年生の進路に関わる講演会)では大学在籍生、とどちらも同窓の皆さまのお力を拝借しながら実施し、キャリア行事として定着しております。こうした同窓生の皆さまとの交流が生徒たちの進路実現に繋がるよう、キャリア教育の一層の充実を図ってまいります。世界と繋がる学びとして、「信州つばさ」プロジェクト(県企画「プログラム」に三名参加予定(韓国、ベトナム・カンボジア、アメリカ)で、一月には本校独自のバンングラディッシュ研修も実施予定です(十六名参加予定)。

▼進路実現のために

人工知能(AI)の活用やグローバル化など、社会の急速な変化の中で、百二十年を超える長い歴史を持つ本校もまた「佐久新校」へとその伝統を如何につなげていくか、模索と検討が続きますが、現在の北高生は岳南会員の皆様にご協力をいただきながら、徒に変化に流されず、変化を受け入れながらもしなやかに、主体的に自己の将来像を探究していくはずでです。本校の岳南会員皆様による後輩生徒への温かいご支援を今後ともよろしく願ひ申し上げます。

進路指導係 菊池文明

大学等合格状況

(2025.4.1 現在)

卒業生数		国立大学	公立大学	私立大学	準大学	海外大学	大学計	公立短大	私立短大	短大計	各種/専修	総計
		194	現	54	28	285	3	1	370	0	0	0
	過	8	3	25	0	0	36	0	0	0	0	36
	計	62	31	310	3	1	407	0	0	0	6	412

国立大学合格者数

大学名	現	過	計
北海道	2		2
北見工業		1	1
弘前	1		1
福島	1		1
茨城	1		1
筑波	2	1	3
群馬	5		5
埼玉	4		4
千葉	1		1
東京学芸	4	1	5
横浜国立	1		1
上越教育	1		1
新潟	3	1	4
富山	3	1	4
金沢	6		6
山梨	1		1
名古屋	1		1
大阪	1		1
大阪教育		1	1
熊本	1		1
信州	15	2	17
(人文)	1		1
(教育)	4	1	5
(経法)	2		2
(理)	1		1
(医)	1	1	2
(工)	5		5
(農)			
(繊維)	1		1

私立大学合格者数

大学名	現	過	計
東北芸術工科大学	1		1
国際医療福祉大学	6	1	7
自治医科大学	1		1
群馬パース大学	3		3
高崎健康福祉大学	1		1
埼玉医科大学	1		1
駿河台大学	1		1
文教大学	9		9
神田外国語大学	3		3
城西国際大学	1		1
千葉工業大学	1		1
帝京平成大学	1		1
青山学院大学	2		2
亜細亜大学	1		1
桜美林大学	4		4
北里大学	8		8
慶応義塾大学	1		1
国際基督教大学	4		4
国際基督教大学	1		1
国士舘大学	2		2
駒澤大学	10	1	11
芝浦工業大学	8		8
実践女子大学	3		3
順天堂大学		1	1
上智大学	2		2
昭和女子大学	5		5
成蹊大学	6	1	7
成城大学	3		3
専修大学	7		7
創価大学		1	1
大正大学	1		1
大東文化大学	4	2	6
多摩美術大学	1		1
中央大学	5	6	11
津田塾大学	1		1
東海大学	12		12
東京経済大学	1		1
東京工科大学	2		2
東京女子大学	1		1
東京造形大学	2		2
東京電機大学	1		1
東京都市大学	1		1
東京農業大学	8		8
東京理科大学	4	1	5
東京薬科大学	1		1
東京洋行	19	2	21
二松学舎大学	2	2	4
日本	12		12

日本	韓国	科	1		1
日本女子			1		1
法政			12	1	13
武蔵			2		2
武蔵野			5		5
武蔵野美術			1		1
明星			1		1
明治			7		7
明治学院			4		4
立教			12		12
早稲田			3		3
早稲田			4	1	5
鎌倉女子			2		2
湘南医療			1		1
フェリス学院			1		1
新潟医療福祉			1		1
新潟工科大学			5		5
金沢工業			11		11
福井工業			1		1
佐久			7		7
清泉(旧:清泉女学院)			1		1
長野保健医療			1		1
松本			3		3
岐阜医療科学			2		2
中部			1		1
名古屋外国語			1		1
南山			1		1
名城			1		1
京都産業			1	1	2
京都芸			1		1
同志			1		1
立命館			6	2	8
龍谷			1	1	2
近畿			3		3
関西医療			1		1
関西学院				1	1
吉備国際			1		1
福山			1		1

海外大学合格者数

大学名	現	過	計
カナダ	1		1

準大学合格者数

大学名	現	過	計
防衛大学校	1		1
国立看護大学校	2		2

各種学校・専修学校合格者数

大学名	現	過	計
専門学校	6		6

班・同好会活動報告 (R6秋から)

東信の顕著な活動・県大会以上を中心に報告します

運動班

- **野球**
(第107回全国高等学校野球長野大会)
2回戦 11-2 諏訪清陵高校 敗退
- **陸上**
(県高校IH)
(男子)
200m
美齊津岳 3位 (北信越へ)
400mハードル
美齊津岳 2位 (北信越へ)
走高跳
羽場瑠南 6位 (北信越へ)
八種競技
甘利悠馬 1位 (北信越へ)
(女子)
5000m競歩
油井ひなの 2位 (北信越へ)
三段跳
西村奏 8位入賞
(北信越IH)
(男子)
八種競技
甘利悠馬 2位 (全国大会へ)
(全国IH)
(男子)
八種競技
甘利悠馬 27位
- **剣道**
(県IH)
(男子)
予選リーグ
対 下伊那農業 3-2 勝利
対 松本県ヶ丘 2-2 取得本数差で負
対 飯山 3-2 勝利
決勝トーナメント
1回戦 対 長野商業 0-5 敗退(ベスト8)
- **ソフトテニス**
(県IH)
(男子)
団体戦 1回戦 飯田OIDE長姫 1-2 敗退
個人戦 長野俊英 1-4 敗退
(女子)
団体戦 1回戦 長野商業 0-3 敗退
- **テニス**
(R6県新人)
(男子)
団体戦 1回戦 赤穂 1-4 敗退
(女子)
団体戦 1回戦 長野西 2-3 敗退
(県IH)
(女子)
団体戦 対 諏訪清陵 0-3 初戦敗退

- 個人ダブルス
田中・神戸 1-6 宮坂・小池(清陵)初戦敗退
橋本・秋山 0-6 田中・山田(松商)初戦敗退
- **バスケットボール**
(R6県新人)
(男子)
1回戦 松本深志 65-74 敗退
(女子)
1回戦 伊那北 57-75 敗退
(R6県選手権)
(女子)
1回戦 長野日大 53-98 敗退
(県IH)
(男子)
1回戦 岡谷東 50-69 敗退
(女子)
1回戦 長野西 40-38 勝利
2回戦 飯田風越 46-71(ベスト16)
- **バレーボール**
(R6県選手権)
(男子)
1回戦 諏訪清陵 0-2 敗退
(女子)
1回戦 須坂 0-2 敗退
(R6県新人)
(男子)
1回戦 木曾青峰 2-0 勝利
2回戦 岡谷工業 0-2 ベスト16
(女子)
1回戦 下伊那農業 2-1 勝利
2回戦 松商学園 0-2 ベスト16
(県IH)
(男子)
1回戦 長野 2-0 勝利
2回戦 長野工業 0-2 ベスト16
(女子)
1回戦 飯田風越 1-2 敗退
- **ハンドボール**
(R6県新人)
(男子)
1回戦 長野南 43-14 敗退
(女子)
1回戦 東海大諏訪 14-30 敗退
(県IH)
(男子)
1回戦 26-25 松本蟻ヶ崎 ベスト16
(女子)
1回戦 26-8 長野南 ベスト8
- **卓球**
(R6県新人)
(男子)
団体 1回戦 0-3 松本美須々ヶ丘
個人戦シングルス
1回戦 萩原 0-3 柚原(岡谷工業) 敗退
相川 0-3 脇田(伊那北) 敗退
(女子)
団体 1回戦 1-3 飯田

- 個人戦シングルス
1回戦 井出 3-1 大塚(飯山)
新海 0-3 相馬(長野俊英) 敗退
美濃 0-3 洞口(松商学園) 敗退
2回戦 井出 0-3 有賀(伊那西) 敗退
- (県国体)
(男子)
大塚 2回戦敗退
相川 2回戦敗退
(女子)
新海 1回戦敗退
美濃 1回戦敗退
井出 1回戦敗退
- (県IH)
(男子)
団体 1回戦 3-2 下伊那農業
2回戦 0-3 長野工業
ダブルス(萩原・佐藤) 1-3 岡谷工業
シングルス 大塚 2回戦敗退
相川 1回戦敗退
(女子)
団体 1回戦 3-0 赤穂
2回戦 0-3 中野西
ダブルス 美濃・小泉 2回戦敗退
新海・井出 1回戦敗退
シングルス 美濃 2回戦敗退
新海 2回戦敗退
井出 1回戦敗退
小泉 1回戦敗退

- (県IH)
(男子)
団体(有賀・秋穂・松澤・相澤・木内) 敗退
(女子)
団体A(畠山・浅川・花里・秋・市村) 敗退
- **水泳**
(県IH)
(男子)
100m自由形
町田龍之介 28位
200m自由形
町田龍之介 19位
(女子)
50m自由形
掛川美伶 3位 北信越大会出場
100m自由形
掛川美伶 2位 北信越大会出場
100m背泳ぎ
依田恵美加 9位
200m背泳ぎ
依田恵美加 8位 北信越大会出場
(北信越IH)
(女子)
50m自由形
掛川美伶 12位
100m自由形
掛川美伶 9位
200m背泳ぎ
依田恵美加 21位
- **サッカー**
(男子)
(R6高校サッカー選手権)
1回戦 12-0 松本秀峰
2回戦 0-6 須坂東
(R6県新人)
1回戦 0-7 長野俊英
(R6県総体)
1回戦 1-1(PK5-6) 飯田

学芸班

- **棋道**
(県高校選手権)
(男子)
団体戦(遠山・岩崎・屋島) 優勝
個人戦B級(篠原) 4位
(女子)
個人戦(荻原) 準優勝
- **英語**
(県英語レシテーションコンテスト)
由井果歩 準決勝進出
- **吹奏楽**
(中部日本個人重奏コンテスト 県大会)
フルート二重奏(川村・土橋) 金賞
- ◆ **軽音楽**
(第20回長野県高等学校文化連盟
軽音楽専門部 県フェスティバル
Power Live 2024 KF)
[Kir] ベスト16 受賞
(2年:小平・松川・樋口・依田・黒澤)

- (第20回長野県高等学校
軽音楽系クラブ合同演奏会県大会
Power Live 2025 K)
[責任転嫁] ベスト16 受賞
(3年:樋口・依田・神谷・三浦・松川)
[Cantaloupe]
(3年:新津・神谷・松川・三浦・上原)
- **美術**
(第46回長野県高等学校美術展)
1-2大釜彩葉、1-4大槻星午、
2-1太田千智 3名出品
- **音楽**
(第39回長野県学校合唱大会 兼
第91回NHK全国学校音楽コンクール
高等学校の部長野県大会)
奨励賞(6位)



日輪祭シンボルウォール (美術班作製)

ここ数年間「第九を守る会の有志生徒十数名で歌い継がれてきたベートーヴェン作曲「交響曲第九番 第四楽章(抜粋)」が、今年度の日輪祭で約百五十名の生徒の歌声により復活しました。一度消えた伝統行事を復活させるには大きなエネルギーを必要としますが、在校生のパワーにより壮大な演奏となりました。

一方、昭和二十七年、故荻原孝一先生から佐久の自然をイメージした「岳澄展」の名称をいただき、本校卒業生と在校生によって始まった美術展が、諸般の事情により今年度をもって終了となりました。

これからも統合に向け様々な変化が起こりますが、「岳南」の灯は会員の心を照らし続けるものだと思います。お届けしました「岳南会ニュース第36号」を、じっくりと味わっていただければ幸いです。